

令和元年12月定例県議会（本会議）における答弁要旨

（質問日：令和元年12月4日）

（代表）・一般

部（局・庁）・課（室）名 健康福祉部 健康福祉政策課

質問者 千葉民主の会 松戸 隆政 議員（入江担当項目）

質問要旨	答 弁 要 旨	答弁者
<p>10. 保健行政について                      (1) ア 保健所長の確保の取組と今後の見通しはどうか。</p>	<p>1 保健所長につきましては、全国的にも人員不足の状態が続いており、保健所長に任用できる公衆衛生医師の確保が難しい状況にあります。</p> <p>2 このため県では、これまで、各ホームページへの応募案内の掲載や、業務説明会の開催等により、人材確保に取り組んでまいりました。加えて、本年8月からは、新たに応募条件に年齢制限を設けない「一般任期付き職員」の募集も開始したところです。</p> <p>3 保健所は、県民生活に直結する保健・医療に関する重要な業務を担っていることから、今後とも、こうした取組の一層の充実を図り、保健所長となる公衆衛生医師の確保に取り組んでまいります。</p>	<p>副知事                      滝川 伸輔</p>

令和元年12月定例県議会（本会議）における答弁要旨

（質問日：令和元年12月4日）

（代表）・一般

部（局・庁）・課（室）名 健康福祉部 健康づくり支援課

質問者 千葉民 松戸 隆政 議員（入江担当）

質問要旨	答 弁 要 旨	答弁者
<p>10. 保健行政について                      (1) 保健所の職員体制について                      イ 地域の健康課題の解決に向けて、保健所保健師は市町村保健師と連携しながら、どのように取り組んでいるのか。</p>	<p>1 保健所保健師には、管内の広域的かつ専門的な事業の実施や地域の健康課題の分析が求められています。</p> <p>2 こうした中、保健所保健師は市町村保健師とともに、特定健診受診率の向上や糖尿病の重症化予防など生活習慣病予防対策の推進のため、県民や保健医療関係者向けの講演会、健康教育等を実施しています。</p> <p>3 また、市町村が開催する健康づくり推進協議会等へ参加し、健康課題の分析結果をもとにして、市町村の保健事業について意見交換や助言を行うなど、地域の健康課題の解決に連携して取り組んでいます。</p>	<p>副知事                      滝川 伸輔</p>

令和元年 12 月 定例 県 議 会 （ 本 会 議 ） に お け る 答 弁 要 旨

(質問日：令和元年 12 月 4 日)

(代表)・一般

部(局・庁)・課(室)名 健康福祉部疾病対策課

質問者 千葉民 松戸 隆政 議員 (入江担当)

質 問 要 旨	答 弁 要 旨	答 弁 者
<p>10. 保健行政について                      (2) 結核予防対策について                      ア 外国籍の方の感染を早期に発見するため、今後どのように取り組んでいくのか。</p> <p>イ 定期的に実施されている国の指導監査への対応状況はどうか。</p>	<p>1 新規登録結核患者のうち外国で生まれた方の割合は、全国的には5年前の約2倍になるなど増加が続いており、また、本県においても、年々増加傾向が続き、全国平均に比べ高い状況となっています。</p> <p>2 このため、平成29年3月に策定した「千葉県結核対策プラン」に基づいて、外国で生まれた方が治療の必要性等を正しく理解し、治療を完了することができるよう、患者が通院等する際、通訳を当該医療機関へ派遣する事業を行っています。</p> <p>3 今後は、国に対し、入国前の検査を早期に実施するよう要望するとともに、市町村と連携し、日本語学校や、外国人労働者等を受け入れる団体に対し、結核の健康診断の必要性等について、周知してまいります。</p> <p>1 国の監査は、法律の履行状況を確認するため、隔年で行われており平成30年5月に実施された直近の監査では、事業者等からの定期健診結果報告書の未提出や、患者との接触者に対する受診の徹底など5つの項目について指導がありました。</p> <p>2 この結果を受け、各保健所の担当課長等を対象とした説明会を速やかに開催し、情報共有を図るとともに指導事項の改善を徹底したほか、県医師会など医療関係団体にも周知を図ったところです。</p> <p>3 今後も、国の監査において指導を受けた事項については、各保健所の改善状況を確認し、結核事務の適正な執行に努めてまいります。</p>	<p>副知事                      滝川 伸輔</p>

(再質問)

国が掲げる人口10万人対罹患率を来年度10以下にするという目標に対し、千葉県としてどのように取り組んでいくのか。

(要望)

結核は過去の病ではなく現在においても恐ろしい病気であり、感染拡大を防ぐためには患者の人権、自由をも制限しなければならないことも想定されます。重大事案を扱っているという認識を持ち、緊張感をもって対策を進めていただきたいと思います。

本県の平成30年の人口10万人対の結核罹患率は、12.1ポイントと千葉県結核対策プランを策定した際に用いた、平成27年の罹患率14.1と比べ2ポイント低下しています。

今後も、市町村や関係団体との連携のもと、啓発事業や研修会などの開催を通じ、結核罹患率が低下するよう取り組んでまいります。

保健医療  
担当部長  
渡辺 真俊